

2016年7月19日
第一生命保険株式会社


慶應イノベーション・イニシアティブが組成する ベンチャーファンドへの出資について

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：渡邊光一郎、以下「当社」）は、慶應義塾大学の研究成果を活用したベンチャー企業への投資を目的としたベンチャーファンド「慶應イノベーション・イニシアティブ1号投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）」に対する5億円の出資を決定しました。

本ファンドは、慶應義塾大学の関連会社である株式会社慶應学術事業会及び野村ホールディングス株式会社が設立した株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ（代表取締役社長：山岸広太郎、以下「KII」）が組成する初号ファンドとなります。本ファンドでは、IT融合領域（IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクス、ドローンなど）、デジタルヘルス、バイオインフォマティクスなどの分野を中心に、慶應義塾大学の研究成果を活用したベンチャー企業への投資を行う予定です。

当社は、本ファンドを通じて、上記のような慶應義塾大学の得意領域におけるベンチャー企業への分散投資を実現することで、高い投資収益を享受することが期待できると考えています。加えて、本ファンドへの出資は、当該領域における最先端の研究への理解やアクセスに繋がり、当社のInsTechの取組み（※）の観点からも意義があると考えています。

当社は、今後も様々なベンチャーファンドへの出資を通じて、投資収益の獲得とともに、機関投資家としてリスクマネー／成長資金の供給を実現していきます。

（※）  **InsTECH** 保険ビジネス（Insurance）とテクノロジー（Technology）の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する当社のグループ横断的な取組み。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	慶應イノベーション・イニシアティブ 1号投資事業有限責任組合
ファンド運営会社	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ (出資比率：株式会社慶應学術事業会 80%、野村ホールディングス株式会社 20%)
投資目的・投資対象	慶應義塾大学の研究成果を活用するベンチャー企業。対象領域はIT融合領域 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクス、ドローンなど)、デジタルヘルス、バイオインフォマティクスを中心とし、ライフサイエンス、エンジニアリングなども含む
投資対象地域	日本国内中心

以上